

## TQC実践事例

【第11回 全国都市改善改革実践事例発表会 燕市発表事例】

テーマ	カンカン BOOK	年度	平成 28 年度
-----	-----------	----	----------

### 発表概要

事業に賛同する事業所から排出されるアルミ缶・スチール缶を市に寄附していただくことで資源再利用の促進を図り、さらに、その売却益で絵本を購入し、市内の児童館・児童研修館に贈呈する「カンカン BOOK」の仕組みと、今後の展開を発表しました。



### 改善内容・成果等

#### 1 カンカン BOOK 事業の成果

寄附されたアルミ缶・スチール缶を有価金属として売却し、その売却益で絵本を購入し、児童館・児童研修館へ贈呈しました。

○平成 27 年度は 47 冊の本を購入

		実績	
		平成27年度	平成28年度 (1月末)
登録事業所数		7社	24社
回収量		1.167kg	2.240kg
売却益		72,045円	165,008円
購入冊数		47冊	100冊!?

#### 2 今後の展開

家庭からごみとして排出され、焼却処分していた再使用可能な古着等に着目し、資源として活用する新規事業に着手します。

(新規事業＝福服 BOOK 事業)

- ・各家庭が再使用可能な古着等を市に寄附(無料拠点回収)
- ・古着等を東南アジア等で必要としている方々へ提供するために事業者へ売却
- ・売却益で絵本を購入し保育園等へ贈呈

